

平成28年6月15日(水)

県政 F ネット

感染症の予防のための 情報提供について

連絡先

三重県健康福祉部 薬務感染症対策課
感染症対策班 担当：松本・平岡
電話：059-224-2352

病名	腸管出血性大腸菌（O26）感染症		
年齢及び性別	3歳・男性	職業	幼稚園児
住所	鈴鹿市		
発病年月日	平成28年 6月 2日		
診断年月日	平成28年 6月14日		

(患者発生の経過)

6月 2日 発熱(38.7℃)、軟便(2回/日)、倦怠感の症状がみられた。
 6月 3日 発熱(37.2℃)、軟便(5回/日)の症状がみられたので、市内診療所を受診。
 6月 8日 血便(2回/日)の症状がみられたので、同診療所を再受診。
 6月 9日 症状が消失した。
 6月14日 6月8日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌(O26)感染症と診断された。
 6月15日現在、患者に症状はありません。

【防疫措置】 家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施(鈴鹿保健所)

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】(四日市市保健所分を含む)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
患者	50	44	39	27	5
保菌者	24	18	19	10	2
計(感染者)	74	62	58	37	7

※平成28年1月1日～平成28年6月15日現在まで本件含む
 平成28年内 患者：O157(2人)：O26(3人)
 保菌者：O26(2人)

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。
 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。
 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。
 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。
 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。
 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫(10℃以下)や冷凍庫(-15℃以下)に入れましょう。

③ 清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。